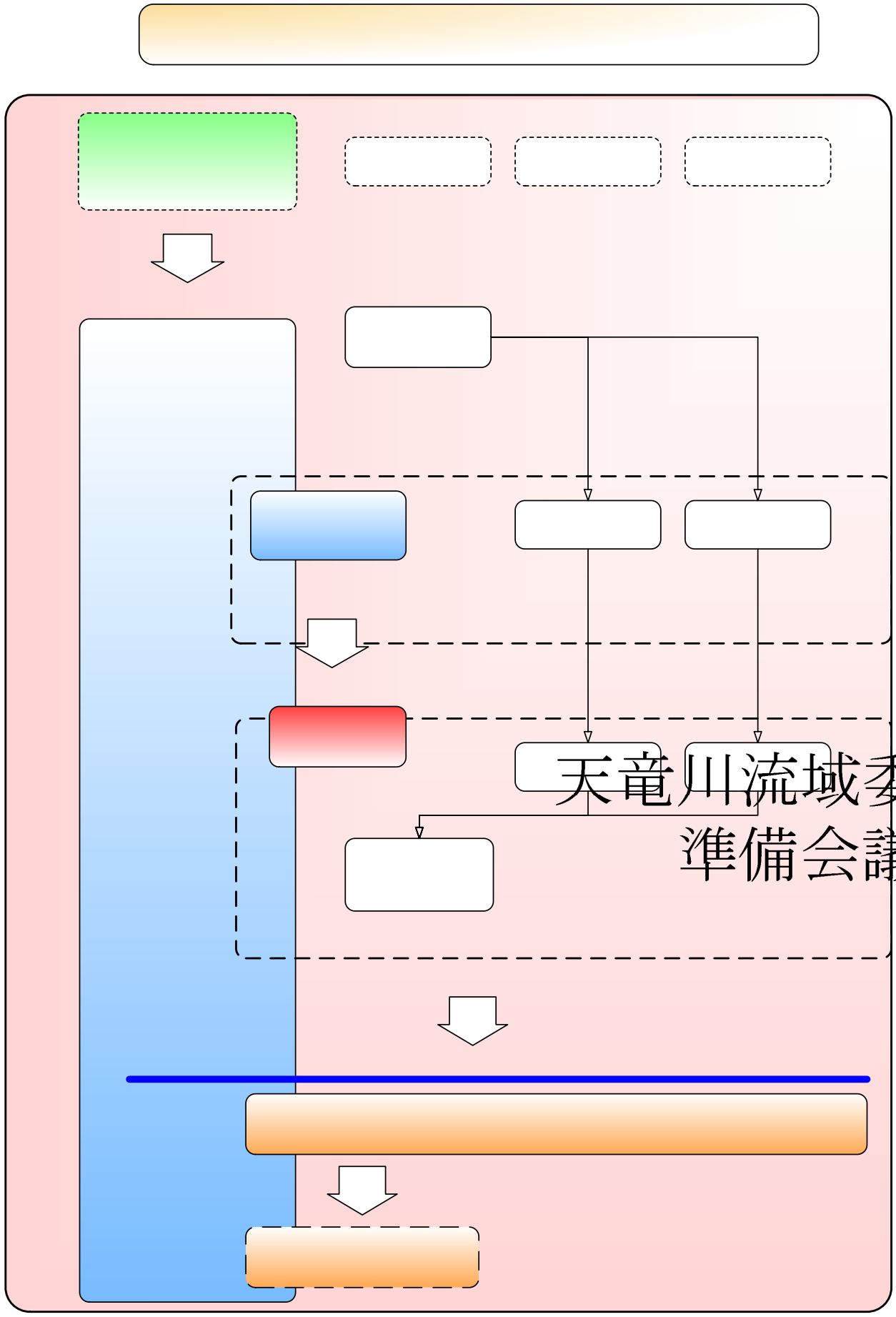


資料-2 これまでの経緯について



第1
第2
第3
第4
第5

第3回 天竜川流域委員会 議事骨子

第3回委員会では、天竜川水系の現状と課題について審議を行った。

1. 第2回議事骨子の確認

第2回流域委員会の議事骨子について確認し、承認された。

2. 天竜川の現状と課題について

[治水]

- ◇ 森林の荒廃要因にはシカやイノシシ等による食害の被害もある。
- ◇ 支川の流入量の増加は、森林の利用や荒廃の問題だけでなく、土地利用の問題もある。
- ◇ 樹林化が進行してはいけない箇所の樹林は対処すべきである。河川整備計画では、場所を決めて整備していく必要がある。
- ◇ 先日、水防団の活動を見に行ったが浜松の住民は全く参加していない。住民は、水害になったらどうしたらいいのかわからないのではないかと。危機管理の課題に水防訓練を加えてほしい。

[利水]

- ◇ 「河川水質」の項目に、流入支川の水質保全・改善を入れておいた方がいい。流入する支川で水質が悪くなる場合もある。

[自然環境・景観]

- ◇ 環境というものは変わっていくものである。元に戻す考え方もあるが、変わった環境を利用して人々を引きつけるという考え方もよいのではないかと。
- ◇ 白い河原と樹林の中間の草原について触れていない。川路ではオギの原を大事にしている。
- ◇ ダムがあり、流量が減り、礫が小さくなっても一番「天竜川らしさ」を保てる点が妥協点と思う。
- ◇ 川と海を回遊する魚が痛手を受けている。海と川の関わりが希薄になりつつあるので、「海と川の関わり」などの項目を入れてもらいたい。
- ◇ 上流と下流では状況が違うと思うが、治水上の問題が無ければ河畔林は残していく方がいいと思う。

[河川利用]

- ◇ 「人と河川の豊かなふれあい」という点でワンドや河畔林は重要である。

3. 天竜川流域委員会の経緯と進め方

- ◇ 現状と課題の修正は、委員長に一任してから行う。
- ◇ 課題の対応はワーキンググループなどを開くとか、進め方をきめて行って欲しい。